

# PAZ LETTER

パース レター



Vol.02

Apr. 2026

## 【特集】トップ対談

樋口 建介 ×

PAZグループ総長  
学校法人群馬パース大学理事長

田村 遵一

医療法人社団ほたか会理事長  
群馬パース病院長

- ・ 2026年度新任医師の紹介  
介護老人保健施設武尊荘の新施設長あいさつ
- ・ 「顔が見える専門家」による健康に役立つ情報♪  
摂食・嚥下障害看護認定看護師によるオーラルフレイル予防  
理学療法士によるウォーキングのコツ



## 樋口 建介

PAZグループ総長  
学校法人群馬パース大学理事長

ひぐち・けんすけ

1945年群馬県生まれ。76年社会福祉法人ほたか会創設、78年医療法人社団ほたか会創設、89年株式会社ベルジテレーノ（現ヴィラージュ）創設、92年学校法人ほたか会創設、97年学校法人群馬パース学園創設。98年群馬パース看護短期大学開学、2005年群馬パース大学開学、09年群馬パース大学大学院（修士）開学。15年社会福祉法人パースの森創設。18年群馬パース大学大学院（博士）開学。



## 田村 遵一

医療法人社団ほたか会理事長  
群馬パース病院長

たむら・じゅんいち

1955年群馬県生まれ。87年二之沢草津病院内科医長に就任。88年米国国立研究（NIH）に訪問研究員として渡米する。99年群馬大学教授、2007年群馬大学病院長補佐、15年群馬大学理事（病院担当）・医学部付属病院長に就任。21年から群馬パース大学臨床工学科の教授、群馬パース病院に非常勤医師として勤務。23年に群馬パース病院の副院長に就任。26年4月より医療法人社団ほたか会の理事長、群馬パース病院の病院長に就任。

# 群馬パース病院のこれからの展望

## 地域の皆様や患者様、 そのご家族様へ伝えたいこと

### 01

群馬パース病院の創設者として、  
理念やグループの歩みについて教え  
てください。

樋口 1977年、群馬県で4番目  
となる特別養護老人ホームを開設した私  
は、入居者の病状が日々変化し、多くの  
方が入院を必要とする現実に向き合いま  
した。

深夜、私の手を握ったまま旅立たれた  
入居者との別れをきっかけに、「付き添い  
のいない、安心して過ごせる病院をつ  
くりたい」と強く思い、翌1978年に  
ほたか病院（現・群馬パース病院）を開  
設しました。その後、医療人材の不足を  
痛感し、医療・福祉の専門職を育てる場  
として、2005年に群馬パース大学を  
開校しました。



### 02

2026年度より新理事長、病院  
長就任にあたっての抱負を教え  
てください。

田村 私は前年まで群馬パース病院  
副院長を務めていましたが、この4月から  
医療法人社団ほたか会理事長と群馬パース  
病院長を務めることになりました。

樋口総長とは群馬大学附属病院時代から  
一緒に働く機会があり、パースグループへ  
の深い思いや先を見通す力に触れてきまし  
た。これからは、これまでのトップダウン  
型の運営に加えて、現場の声を大切にし、  
みんなで課題を見つけて解決していく文化  
を育てていきたいと考えています。職員が  
主体的に医療安全などに取り組むことで職  
場がより良くなり、その力が地域にも広が  
っていくはず。新しい時代の病院づく  
りを、職員の皆さんと一緒に進めていき  
たいと思っています。



# 群馬パース病院

## 群馬パース大学

### 新理事長病院長の 新たな挑戦

# 03

大学と病院の連携強化を今後どのように進めていくのか教えてください。

樋口 人生の最期を当院の理念にある通り「美しく、健やかに、元気で老いる」を迎えられるようにするためには、医療の質がとて大切だと感じています。群馬大学附属病院の病院長を務められた田村先生を当院の理事長・病院長としてお迎えし、大学で培われた経験や、国立大学病院では難しい取り組みを民間ならではの形で発揮していただくことで、医療の質はさらに高まると期待しています。将来的には、群馬パース大学と群馬パース病院が一つの力として結びつくことが、より良い形になるのではないかと考えています。

### 早期臨床体験実習 (Early Clinical Exposure) の実施



群馬パース大学医療技術学部の学生が院内見学をしている様子



当院のスタッフは、群馬パース大学の授業で大人気！！



当院の摂食・嚥下障害看護認定看護師が日本慢性期医療学会にて発表

# 04

将来構想として、病院内に大学のシミュレーションセンターを作る計画があるとお聞きしました。その意義はなんでしょうか？

樋口 22年前にカナダのマギル大学を訪れた際、地下にある大規模なシミュレーションルームを視察しました。そこには、数千万円の医療用モデル人形が並び、注射をするとフランス語で反応する様子に大きな衝撃を受けました。現在でいう生成AIの原型のような仕組みがすでに導入されていたのです。私たちも将来のシミュレーションセンター設立を見据え、受付や外来の流れを再現し、医師や薬剤師、看護師なども交えて議論できるカンファレンスルームなど、病院内に「学びの場」を整えていきたいと考えています。

田村 これから看護師やリハビリの専門職などを目指す人たちが、安心して学べる環境を整えることはとても大切だと感じています。シミュレーターを使った学習は実践に近く、人で練習できない技術を身につけるうえで欠かせません。また、実習生がゆっくり休み、勉強できる場所を用意することも重要です。医療系大学を持つ当院だからこそ、未来の医療人を育てる場を整えることは大きな社会的役割だと思っています。

# 05

これからの群馬パース病院の展望を教えてください。

樋口 人生には限りがあります。私は、群馬パース病院が「美しく健やかに老いる最高の人生」を最期まで支えられる場所であってほしいと願っています。その思いを実現するため、パースグループ総長として、また群馬パース大学の理事長として田村先生を支え、共に新しい形の病院づくりを進めていきたいと考えています。患者さんが安心して過ごせる環境を、これからも大切に育てていきます。

田村 私も、「美しく健やかに老いる最高の人生」を追求できる病院でありたいと考えています。全体の雰囲気高め、皆で成長することでの理念をさらに磨き、最期の時を群馬パース病院で迎えたいと思ってもらえる場所を目指します。



樋口総長の「シドニー」の掛け声で、素敵な笑顔

# 2026年度 新任医師紹介

## 介護老人保健施設武尊荘施設長就任のご挨拶

2016年より群馬パース病院長を務めてまいりましたが、2026年4月より、牛島前施設長の後を引き継ぎ介護老人保健施設武尊荘の施設長に就任いたしました。

当施設は病院と同一建物内にあるという、他にはない大きな強みを持っています。入所者様は多くの疾患を抱えており、時には急激な体調変化も予測されます。こうした際、いかに迅速に医療へ繋がれるかが、入所者様の命と生活を守る鍵となります。

これまでの病院長としての経験を活かし、職員の皆様と「早期発見・即応」の意識を共有し、病院との密な連携を徹底してまいります。ご家族との共通理解を深め、誰もが心から安心して過ごせる環境を整える所存です。初めての現場となりますが、医療と介護の強固な架け橋となれるよう尽力いたします。何卒よろしくお願い申し上げます。



介護老人保健施設武尊荘  
施設長 國元 文生

さいとう はるか

齋藤 悠 医師

水・金曜日の午前：呼吸器内科

4月から新たに外来を担当させていただきます。

これまで、医師として、臨床、研究、教育に携わってきました。専門は呼吸器内科です。広い視野を持って、皆さんの健康寿命を延伸できるように努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

さいとう つぐみち

齋藤 従道 医師

金曜日の午後：糖尿病内科

糖尿病内科外来を担当させていただきます。これまでの臨床、研究、教育に携わりながら、医師として研鑽を積んできました。地域医療に貢献できるように尽力したいと思います。よろしくお願いいたします。

## 専門外来のご案内

※他の医療機関との連携により、高度な専門外来を実施しています。

消化器内科 (内視鏡のみ・予約制)	山田医師	火曜日	午前
	川村医師	水・木曜日	午前
泌尿器科	昭和大医師	水・金曜日	午前・午後
糖尿病内科	齋藤従道医師	金曜日	午後
呼吸器内科	齋藤悠医師	水・金曜日	午前
皮膚科	天野医師	金曜日	午後



最新の情報は、当院HPの  
「What's New」よりご覧になれます。



このコーナーでは、「顔が見える専門家」として、看護師などの  
 コメディカルスタッフが生活に役立つお話を皆さんにお届けして  
 いきます！

今回は、看護師と理学療法士から話を聞いてきました♪

### どれくらいウォーキングすればいいの？

ウォーキングの理想は、1日30分～60分です。  
 しかし一度に長時間歩く必要はありません！  
10分間のウォーキングを1日に繰り返して行っても効  
 果は変わらないとされています。  
 ※腰痛のある方はプール内歩行や自転車、ひざに痛みのある  
 方はプール内歩行を推奨します。

「話を聞いた職員」



職種：理学療法士  
 群馬パース大学  
 臨床准教授

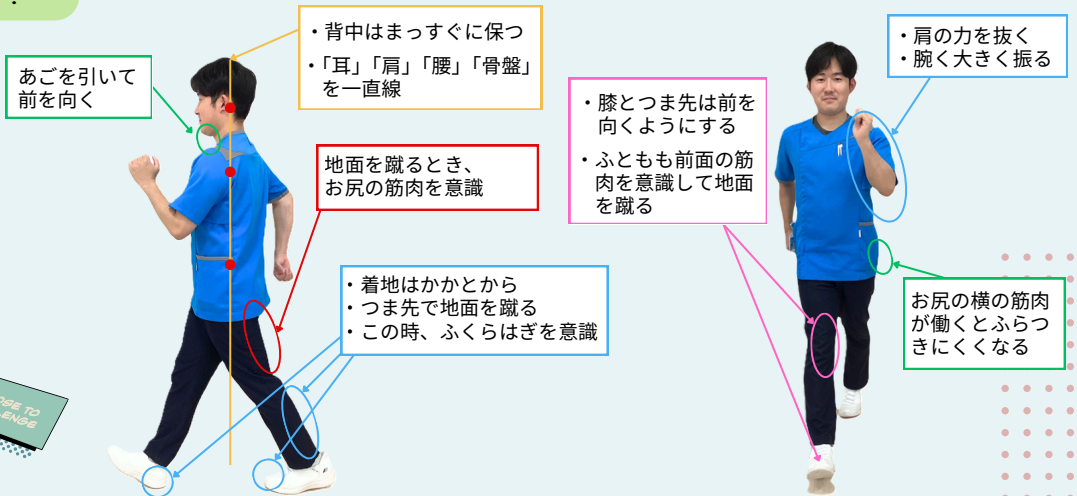


### ウォーキングのコツはある？

- ①いつもより早歩きで歩幅を大きく！
- ②正しい姿勢を意識！

結果

ケガの防止になったり、消費カロリーが増えるといった効果が期待できます！



### オーラルフレイルとは？

「噛む」「飲み込む」「話す」といった口の機能低下（虚弱）のことです。

加齢に伴う歯の減少や筋力低下が原因で、放置すると食欲不振・誤嚥・全身の衰え（フレイル）につながる恐れがあり、要介護状態や死亡リスクが2倍になるという研究もあります。

「話を聞いた職員」



職種：看護師  
 摂食・嚥下障害看護  
 認定看護師



### オーラルフレイルセルフチェック

以下のような兆候が2つ以上当てはまる場合、オーラルフレイルの疑いがあります。



硬いものが食べにくくなった  
 (噛む力の低下)



むせる・食べこぼしが多くなった



柔らかいものばかり食べる



歯が抜けたままになっている



活舌が悪くなった



口の渇きが気になる

### 予防・改善方法

- ①口腔ケア  
 歯周病や虫歯の治療、定期的な歯科検診・クリーニング
- ②口腔体操  
 「パタカラ体操」など口や下の筋肉を鍛える
- ③しっかり噛んで食べる  
 柔らかいものばかり食べず、硬い食材も意識して摂取する
- ④会話を楽しむ  
 話すことで口の筋肉を動かす

## 無料送迎のご案内

高齢者の方、移動手段が無い方、ご自身での運転が心配な方への無料送迎のご案内です。

- ・当院の外来を受診される方（同伴者1名OK）
- ・車椅子の方も対応できます。
- ・**予約制**となります。  
ご予約・問い合わせは下記までご連絡ください。

群馬パース病院 TEL : **0278-52-2141**

## 患者支援センター

転院や人工透析の相談等、お気軽にお声掛けください。

**直通TEL : 0278-52-3708**

Fax : 0278-52-2238

E-mail : [ti-ren@hotaka.or.jp](mailto:ti-ren@hotaka.or.jp)

【月～金曜日】8:30～17:00

【土曜日】8:30～12:00

## 外来診療担当医表

※休診日：土曜午後・日曜・祝日

※ 午後は、緊急の患者さまについては専門外来以外でも対応いたします。

群馬パース病院 代表番号：**0278-52-2141**

曜日 時間	月	火	水	木	金	土
9:00～ 12:30	内科 高野医師	内科 六本木医師	内科 齋藤悠医師 (群馬パース大学)	内科 清水医師	内科 高野医師	内科 清水医師
		消化器内科 山田医師	消化器内科 川村医師	消化器内科 川村医師	呼吸器内科 齋藤悠医師 (群馬パース大学)	脳神経外科 清水医師
14:00～ 17:00 (専門外来)	—	—	泌尿器科 昭和大医師	—	糖尿病内科 齋藤従道医師	—
					皮膚科 天野医師	
					泌尿器科 昭和大医師	

	曜日 時間	月	火	水	木	金	土
	透析センター	8:30～12:30	○	○	○	○	○
	13:00～17:00	○	○	○	○	○	○
健診・人間ドック	午前	○	○	○	○	○	要相談
	午後	○	○	—	—	○	—

※健診・人間ドックは予約制になります。

### フォロー&チャンネル登録

をお願いします！



Instagram



YouTube

### 編集後記

本号では、2026年度より新たに新理事長・病院長に就任された田村遵一先生と、樋口建介総長による特別な対談をお届けしました。最後は樋口総長の「シドニー！」という笑顔になる明るい掛け声で、お二人とも最高の笑顔に。この笑顔の輪が、患者様やご家族様、そして地域のみなさまへと優しく広がっていくことを願っています。新体制となった当院のこれからの歩みに、どうぞご期待ください。

広報委員会 K